

# 練二通信

No. 391

令和元年11月29日

練馬第二小学校

校長 濱中 一

## 子供たちが輝いた芸術の秋

### そしてスポーツの秋

校長 濱中 一

十一月十五日、十六日の展覧会には、たくさんの方の保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。ございました。

今年のテーマは「みて！みて！！」

「このわたしのこうしたい」。子供たちは「こうしたい」という思いをふくらませて夢中で作品をつくり、「これなんだと思う？」「こんなふうにつくったんだよ！」と、いつも紹介してくれていました。当日、展示された一つ一つの作品をご覧になり、製作途中の子供たちの真剣な表情、輝く笑顔の思い浮かべていただければ幸いです。

また、期間中には、六年生が展覧会の作品ガイドとなって活躍しました。計画では、五年生と保護者対象の活動でしたが、一日目のガイドぶりがとても好評で、急遽二日目に四年生以下に

もガイドを行うこととなりました。六年生は大変だったと思いますが、積極的に子供たちや保護者の皆様に声をかけ、生き生きと活動できました。最高学年として立派に輝く姿でした。

さらにPTA役員の皆様には、会場設営にご協力いただき、保護者の皆様の作品やメッセージを展示していただきました。子供たち、保護者、学校が「チーム練二」となって、素敵な『練二美術館』が完成しました。本当にありがとうございました。

さて十二月には、東京都オリンピック・パラリンピックアワード校として、二人のアスリートをお招きして特別授業を行います。十一日の講師はフットサル元日本代表キャプテン 北原 亘先生。二十日の講師はブラインドサッカー

日本代表 加藤 健人先生です。日本を代表するアスリートとの出会いは、東京オリンピックに向けて、子供たちの心に残る貴重な体験となることでしょう。特別授業はどなたでも参加できます。是非御来校ください。

また、これからのわ跳びへの取組が本格化します。校庭でも縄を使って遊ぶ子供たちの姿がたくさん見られます。ご家庭でも、お子様に励ましの声掛けをお願いいたします。

十二月以降も、数多くの行事が行われます。そして日常生活でも、子供たちは学習で力を高め、学級や学校での活動で活躍します。子供たちの輝く姿を今後もご期待ください。

#### 十一月の朝会より

○十一月は『ふれあい月間』。心が弱いとチクチク言葉を使ってしまう。勇気をもって『あつたか言葉』をたくさん使ってください。

○たった二日間の練二美術館。チーム練二が一つになった、素敵な展覧会でした。六年生のガイド、立派でした。

○例えば電車で席を譲るのは、とても勇気があること。勇気を出して、優しい行動をしてみましよう。

## 十二月の行事予定



- 2 (月) 委員会活動
  - 3 (火) ユニセフ期間(5日)
  - 4 (水) A時程午前授業  
研究授業(四年一組)
  - 6 (金) 社会科見学(四年)
  - 10 (火) 芸術鑑賞教室(三・四校時)
  - 11 (水) A時程、貫井福祉園交流会(四年)  
フットサル特別授業(五・六校時)
  - 14 (土) もちつき大会
  - 16 (月) お話の会(一、二年)・クラブ活動
  - 17 (火) お話の会(三、四年)
  - 18 (水) 避難訓練、起震車体験(六年)
  - 19 (木) 消防署見学(三年)
  - 20 (金) ブラインドサッカー特別授業(二・四校時)
  - 23 (月) クラブ活動
  - 24 (火) 五時間授業
  - 25 (水) 終業式・A時程午前授業・給食終
  - 26 (木) 冬季休業日始
- ※1月7日(火) 冬季休業日終  
8日(水) 始業式・給食始  
A時程午前授業(一～四年)  
委員会活動(五校時)

#### ★今月の生活目標

・みんなで使うものを大切にしよう。

#### ★週の生活目標

- ・遊び道具など使ったものの後始末をきちんとする。
- ・そうじや給食の後始末をきちんとす

## ユニセフ募金について

特別活動部

今年度もユニセフ期間を実施します。今年度は十二月三日（火）に、代表委員会によるユニセフ集会を行います。世界には、困っている同年代の子供たちや人々がたくさんいる現状に目を向け、劇やクイズなどの発表の準備を進めています。その中には、日本で生活する私たちには、想像することが難しいこともあるかと思えます。しかし、今までよりも広い視野で、自分にできることを考えるよい機会になればと思っています。

翌日の十二月四日（水）と十二月五日（木）の登校時間に、中央昇降口と東昇降口で募金活動を行います。また、子供たちは各学級で、ビデオ教材やリーフレットからユニセフの活動や様々な国の状況について学びます。募金については、各学年便りに詳しく掲載しています。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



## 展示会を終えて

学芸的行事部

毎年、各学年の学習で絶対にはずせない題材（版画・工具の使い方・刃物の使い方など）があります。展示会の年だからこそ思いきり取り組める題材があります。そんな題材で子供たちはいつもの図工以上の達成感と感動を味わえたと思います。

今年度は子供たちの「こうしたい」を特に重視して学習活動を進めました。子供たちは、自分の想いに向き合い、目の前の題材に真摯に取り組み、自分の力を存分に出し尽くし意欲的に作品を完成させていきました。作品づくりを通してまさに、自己決定（こういうものをつくるんだ！）と自己完結（よし、これでできた！）という人間形成の上でとても大切な経験ができたと思います。

図工室はいつも子供たちの熱気に溢れています。その様子を会場にモニターを置いてお伝えする工夫をしました。会場の音楽は、音楽の授業で子供たちがそれぞれの想いを込めてつくった曲を録音し流しました。

担任の先生方のご尽力で今回の「子供ガイド」も六年生たちは、練二小の顔として立派にガイドを務めてくれま

した。皆様からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

子供たちが個性豊かな工夫ができるのは「工夫の道具」をそろえてくださる保護者の皆様のおかげです。これからもご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。



## 冬休みを迎えるにあたって

生活指導主任

子供たちが楽しみにしている冬休みが近づいています。安全に、また有意義に過ごせるよう以下のように指導しています。

### ① 家族の一員としての自覚

お手伝いをしましょう。  
お正月等の挨拶をしっかりとしましょう。

### ② 規則正しい生活

早寝・早起き、手洗い等に努め、健康に過ごせるようにしましょう。

### ③ お金の使い方

お年玉などお金を手にすることが多い時期です。トラブルに巻き込まれないよう、また計画的な使い方ができるよう気を付けましょう。

### ④ 交通安全

特に自転車の飛び出しによる事故には、十分気を付けましょう。

後日配布する「冬休みの生活について」もご覧いただき、楽しい冬休みを過ごせるようご家庭でもご協力をお願いします。



